



愛知工業大学情報電子専門学校
愛知工業大学名電高校
愛知工業大学附属中学校

目次:

各種助成など	2
マスコミ取材	3
イベント特集	4・5
私立大学展	6
地域交流など	7
学校説明会	8

発行所
名古屋電気学園

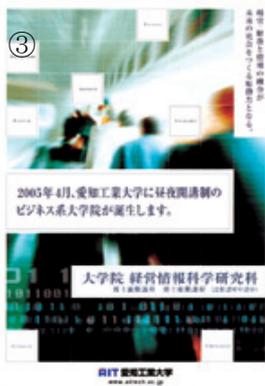
〒464-8540
名古屋市千種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0201

二〇〇五年四月 愛知工業大学にビジネス系大学院がオープン

経営・財務と情報を融合

六月二十三日に文科省へ設置認可申請
昼夜開講制導入で社会人の受講も容易に

教育環境の充実を図るとともに、社会人を対象とした講座の開講など「開かれたキャンパス」を目指す愛知工業大学では、既設の経営情報科学部に基礎を置く「ビジネス系大学院「経営情報科学研究科」を来年四月



2005年4月、愛知工業大学に昼夜開講制のビジネス系大学院が誕生します。

○: 経営情報科学研究科の関連教育施設、愛工大山キャンパスの地鎮祭が六月十八日に行われ、来年四月開講へ向けて工事が始まりました。写真①は完成イ

メージ図、②は一階フロアの見取り図、③は完成したパンフレットです。本山キャンパスは鉄骨造り四階建て延べ約千八百平方

本山キャンパス着工、パンフレットも完成

に開講する計画です。六月二十三日には文部科学省への設置認可申請手続きを完了、十一月末には文科省の判断が示される予定です。経営情報科学研究科は、

経営・財務と情報を融合した研究内容とし、博士前期課程(入学定員十五人)、博士後期課程(同三人)が同時に開設されます。また、会社勤務など社会人の受講を容易にするため、昼夜開講制を導入する予定です。博士前期、後期両課程には「経営情報科学専攻」が設けられます。

新専攻対応でゼミ室増やす
大学 来春13号館が完成



学科再編に伴って新しい専攻が誕生したことなどに

学・各設置校の総合案内のほか軽食などテナント二店舗が入り、二、四階はゼミ室や公開講座、遠隔講義な

どのための施設がつけられる予定です。なお、パンフレットのお申し込みは、大学広報室へお願いします。

アテネ五輪・卓球ダブルスに出場

鬼頭明選手の壮行会開く

附中、愛工大名電、愛工大OBでアテネ五輪・卓球ダブルス出場の鬼頭明選手(29)を激励する壮行会

が七月九日、名古屋市中区の名古屋ガーデンパレスに約二百人が集まって開かれました。激励の言葉や花束贈呈などに続き、鬼頭選手が「アテネは僕の卓球人生の集大成。一所懸命、一つの所に命を懸けることを肝に銘じ、メダルを目指します」と決意表明しました。

マスコミ各社も取材に訪れ、後藤淳名古屋電気学園理事長が握手で鬼頭選手を激励しました。写真。

戸伏工学部教授に国際共同研究助成
 日本学術振興会は平成十六年度の米・豪・欧共同研究セミナーの助成対象として、愛工大・戸伏壽昭工学部教授(機械工学専攻)の「形状記憶材料の静的および動的熱・力学特性の研究」を選び、約三百二十万円の助成を決めました。共同研究者は、学科・専攻が同じ高木誠教授です。

新規6件含む14件が対象に
 平成16年度科学研究費補助金

文部科学省と日本学術振興会(独立行政法人)が公募している「科学研究費補助金」の平成16年度交付分が決まりました。本学関係は下表の14研究が対象となっており、研究区分別の件数は基盤研究B(◎印)1件、基盤研究C(○印)5件、若手研究B(▽印)8件の計14件で、継続が8件、新規が6件。平成15年度は基盤研究B1件、基盤研究C5件、若手研究B3件、特別研究員奨励費1件の計10件で、全体では4件増えたこととなります(補助金の単位は万円)。

区分	学部	研究代表者	研究課題	補助
◎継	工学部	稲垣道夫・応用化学科教授	カーボン被覆触媒粒子の創製—カーボン層のナノ構造制御による機能の高度化	290
○継	経営情報科学部	石井直宏・情報科学科教授	ニューラルネットワークの対称、非対称構造における認知、記憶機構の計算論的研究	120
○継	工学部	中島 剛・応用化学科教授	フッ素化反応による炭素材料の表面構造制御と電極特性	110
○継	工学部	成田国朝・都市環境学科教授	堤体内の間隙水圧挙動と浸透破壊に対する安定性評価に関する研究	30
○新	経営情報科学部	大野勝久・情報科学科教授	IT活用によるJIT生産システムの進化に関する研究	190
○新	工学部	森野奎二・都市環境学科教授	電気炉酸化スラグ骨材を用いた既存コンクリートの耐久性に関する研究	150
▽継	工学部	野々垣篤・都市環境学科助教授	インド中世の宮殿建築の寸法計画に関する史的 research	110
▽継	基礎教育センター	中村 豪・自然科学教室講師	種数3のコンパクトリーマン面が取り得る極限円板の個数についての研究	50
▽継	工学部	北川一敬・機械学科助教授	複雑ポラス媒体による衝撃波環境の減衰効果と多次元衝突干渉の解明	100
▽継	工学部	鳥井昭宏・電気学科助教授	圧電素子のオンオフ制御を用いた3自由度ミニチュアロボットの動作解析	110
▽新	経営情報科学部	小橋 勉・情報科学科講師	錯綜的企業間関係の成立プロセスの分析	50
▽新	基礎教育センター	太田伸幸・総合教育教室講師	競争的状況下における個人の状況認知および行動選択に関する研究	90
▽新	工学部	内田敬久・機械学科講師	精密位置センサの開発に関する研究	230
▽新	工学部	雪田和人・電気学科助教授	マイクロ水力発電・高効率小型風力発電システムの開発と系統連系技術	280

財団からの研究助成

◇財団法人・簡易保険文化財団(小野澤知之理事長)は、平成16年度調査研究助成の対象として、経営情報科学部情報科学科(経営情報システム専攻)・野村健太郎教授の研究テーマ「郵貯・簡保民営化論議と会計制度改革」を選び、50万円の助成を決めました。野村教授によると、小泉首相の郵政民営化構想に関連した会計制度改革は極めて重要で、意義・特徴・問題点がどこにあるかを多面的に研究して行きたいとのことでした。
 ◇財団法人・名古屋産業科学研究所(後藤淳所長)はこのほど、平成16年度の研究等助成(海外渡航援助)として、工学部機械学科(知能機械工学専攻)の道木加絵講師に30万円の助成を決めました。道木講師は米国テキサス州オースティンでの「情報通信・制御技術の国際会議(CCT04)」に出席。論文「自律移動ロボットのための状況に適応的な視覚情報抽出手法に関する研究」を発表しました。

愛工大教育・研究特別助成
 本年度は10件を採択
 平成十六年度愛知工業大学教育・研究特別助成(総額二千万円)の対象研究として、下表の十件が採択されました(助成金額の単位は万円)。区分では教育が六件、研究が四件となっています。昨年度は教育三件、研究二件の計五件でした。

区分	学部	代表者	課題	助成
教育	工学部	中村 栄治・電気学科助教授	実践的コンピュータエンジニアリング教育プログラムの教材開発	187
教育	工学部	中原 崇文・機械学科教授	授業フィードバックアンケートの講義改善への活用方策	88
教育	工学部	渡辺 修・機械学科教授	知能機械工学専攻新設に伴う新方式学生実験と創成教育プログラムの導入	800
研究	工学部	道木 加絵・機械学科講師	自律移動ロボットの自己位置推定に関する研究	400
研究	経営情報科学部	野村健太郎・情報科学科教授	持ち株会社と経営・会計システムに関する研究	50
研究	経営情報科学部	鈴木 晋・情報科学科助教授	アルゴリズムの効率化と性能評価に関する研究	150
教育	基礎教育センター	吉賀 憲夫・総合教育教室教授	習熟度別学習に向けての運営環境の構築	150
研究	基礎教育センター	藤井 勝紀・総合教育教室助教授	女子スポーツ選手における初経遅延評価システムの構築とその活用	50
教育	基礎教育センター	L・ケリー・総合教育教室助教授	オーディオとビデオを活用した、英語学習者用オンライン教材の開発	100
教育	基礎教育センター	太田 伸幸・総合教育教室講師	Webを利用した学習支援教材の開発	25



読売新聞「明日の人に」
 ○：後藤泰之学長は、八月十一日付の読売新聞「明日の人に」で取り上げられました。八木さゆり記者のインタビューは、七月九日に学長室で行われました(写真⑤)。
 後藤学長は学生に対し「失敗を恐れず挑戦を」と呼びかけ

愛工大の後藤学長と内田教授がマスコミに登場



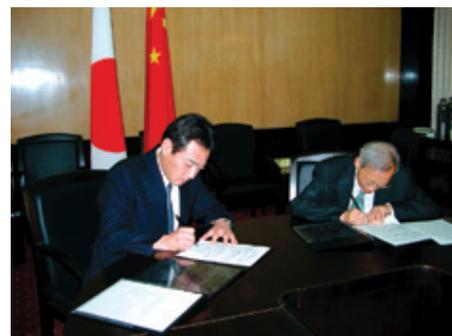
THK「テレビ博物館」
 ○：工学部電気学科の内田悦行教授は、東海テレビ九月五日放映予定の「テレビ博物館・それってホント」で解説を担当、八月四日に撮影が行われました(写真⑥)。密封

歓迎横断幕の前で記念撮影する代表团



共同研究の覚書に署名
 訪中団が東南大と交流深める

後藤泰之愛工大学長を団長とする訪中代表团(7人)が6月21日~27日、姉妹提携校の東南大(中国・南京市)などを訪問、友好を深め合いました。顧冠群東南大学長と後藤学長が共同研究を進めるための覚書に署名したほか(写真⑦)、東南大附属中学(6年制)と愛工大名電との交流についても協議。青木徹彦、寺本和幸両教授の特別講義なども行われました。



容器に食材とタレを入れ、減圧すると食材にむらなく味が浸透しておいしくなることを、大根と食紅を使って証明しました。

ロボットや飛行船など12件

学生チャレンジプロジェクト
 レベル高く選定枠大幅に増やす

学生の「ものづくりの夢」実現をバックアップしている学生チャレンジプロジェクトは、今年で四回目を迎えました。このほど選考委員会が開かれ、平成十六年度の助成対象として下表の十二研究を選びました。

ロボットや飛行船、バッテリーカーなど「工学系の定番」に加え、「経営情報科学系」でインターネット関連のプロジェクトも初めて登場して来ました。申請は十四件でしたが、回を重ねて研究内容がレベルアップしていることや後藤泰之学長の意向もあり、選定枠、助成総額とも大幅に増えました。

学生チャレンジプロジェクト

申請代表者	学科(院は専攻)・学年	テーマと目標	人数	指導教員	助成金
下村大祐くん	院・生産システム工学専攻1年	インターネットショッピングモールの運営	7人	寺本 和幸・教授	764,500円
林 賢亮くん	機械工学科4年	人力飛行機の設計とプロトタイプ機の開発	9人	酒井 春雄・助教授	1,000,000円
初岡拓真くん	土木工学科3年	歴史的構造物“窯垣”の調査と現代的再生	10人	小池 則満・講師	302,800円
前田裕二くん	電気工学科4年	ロボットグランプリへの挑戦	7人	道木 加絵・講師	669,250円
小林正紀くん	電気工学科4年	バッテリーカーの制作およびワールドエコノムーブイン豊田への参加	11人	雪田 和人・助教授	709,600円
平野慎也くん	院・電気材料工学専攻2年	レスキューロボットシステムの開発	11人	加藤 厚生・教授	900,000円
今川雅人くん	情報通信工学科3年	二足歩行ロボットの研究	8人	平松 誠治・講師	281,720円
石本吉一くん	機械工学科4年	二輪走行ロボットランサーによる機械学会ロボットグランプリ参加	6人	渡辺 修・教授	500,000円
土屋真代さん	情報通信工学科4年	ソーラーエアバルーン飛行船の製作	10人	比嘉俊太郎・教授	1,000,000円
柴田篤志くん	院・電気電子工学専攻2年	ヒューマノイド型ロボットプロジェクト“行け!鉄人”	8人	古橋 秀夫・助教授	820,000円
高橋睦良くん	情報通信工学科4年	視覚をもったインテリジェントカーの製作	8人	中村 栄治・助教授	400,000円
執行雄一くん	建築学科2年	ストローペイルハウスの研究	4人	建部 謙治・教授	560,000円

オープンキャンパス

高校生たちに大学の雰囲気を感じてもらおうと、キャンパスを開放して学科やクラブのデモンストラーションなどを展開する「オープンキャンパス二〇〇四」が八月三日、昨年を上回る約千六百人が参加して開かれました。高校生たちは10号館大講義室で愛工大の概要や過去の入試問題傾向などを聞いた後、学科・専攻別に設けられた六十一のPRコーナーなどを見て回り、大学での研究に触れ、雰囲気を体感していました。

夏 楽しいイベントがいっぱいです！



◇受付風景 資料や食事券、飲料水のボトルなどを受け取って会場へ

◇個別相談 入試方法からカリキュラム、就職などどんな相談もOKです



◇資料コーナー 入試や資格取得、就職などこれから必要な資料ばかりです

◇全体説明 大学の概要や学生生活、来年度入試などみんな真剣な表情です



やっぱり一番楽しい？昼食タイム



マニングセンターによる3次元加工のデモ



正確に的を突きながら走るランサーロボット



液状化しそうな地盤をつくる



コンピュータシステムのデモ



電気の働き者ぶりを説明するコーナー



へびのように進むレスキューロボット



耐震実験センターで震度7を体験



④エコランカー⑤金属疲労のテスト



夏 楽しいイベントがいっぱいです！

まるごと体験ワールド

子どもや保護者たちに身近な実験や体験などを通じ、科学を楽しく理解してもらおうと、ことしも七月三十一日と八月一日、大学の教室などを使って「まるごと体験ワールド」が開かれました。パソコン分解や竹とんぼづくり、ロボットのプログラミングなど十二のコースに、二日間で小学〜高校生や保護者ら延べ七百五十人が参加、「ものづく」や「自然観察」などで楽しい一日を過ごしました。



④パソコン分解講座＝色々な部品がケースの中から出てきます



③紙飛行機に挑戦＝愛機の飛行テスト中です



⑥川の生き物観察会Ⅱ
魚や生物がいっぱいました



⑤ロボットに挑戦＝ロボットの車を動かすのに真剣な表情のお父さん



透過型電子顕微鏡で原子像に挑戦＝初めてナノの世界を体験しました



手作り電池であそぼう＝レモンなど色々なもので電池をつくりました



愛ちゃんに挑戦＝動体視力テストのあと、卓球の実技指導もありました



⑧元氣いっぱい踊る女性たち



ふれあい大賞獲得！
第三十六回豊田おいでんまつりが七月二十三〜二十五日、豊田市中心部でにぎやかに行われました。中日の二十四日には、愛工大有志らによる「みずわか連」が「おいでん総踊り」に参加し、「トヨタふれあい大賞」を獲得しました。
午後六時半ごろ豊田市昭和町付近を出発した「みずわか連」は、学園や各設置校の教職員、愛工大の院生や実習補助員、それに教職員の家族ら総勢約五十人。背中が大きく「愛工大」と染め抜いた揃いのハッピー姿で、ヘアバンドやリボンなどのアクセサリ、風船やウチワなどの「小道具」を使って精一杯めかし込み、二時間近く通りを練り歩きました。ことしから踊りの振り子をポップ風に変更、手拍子やかけ声を取り入れてリズム感を持たせたことなどが、受賞につながったようです。参加は三回目、昨年は「健闘賞」を獲得しており、来年は「おいでん大賞」を目指すそうです。

豊田・おいでん総踊り

毎回登場の変なおじさん



荷物運び担当の男性たちはお疲れ気味

施設や授業内容、入試方法などPR

来年度の入試方法などについて質問していました。

私立中進学フェア

「ふれあいキャンパス新発見」をテーマにした「二〇〇五中部の私立大学展」が六月五、六日、名古屋市熱田区の名古屋国際会議場に四年制四十九校、短大三十校の計七十九大学・短大が参加して開かれました。

愛工大は、最大級のスペースを確保して出展。イメージキャラクター「鉄人28号」のフィギュアが登場したほか、二足歩行ロボットのデモンストレーションも行われ、「ものづくりの愛工大」を盛んにPRしていました。二日間で高校生や保護者、高校の教員ら約百五十人がブースを訪れ、

「二〇〇四愛知私立中学進学フェア」が七月二十三日、二十四日、名古屋市中区の松坂屋南館八階のマツザカヤホールに愛知県内の全私立中二十校が参加して開かれました。学校の施設や内容などをアピールし、子供たちの学校選びの参考にしてもらおうというもので。附中のブースでは教職員三人が学校の内容、入試スケジュール、大学進学状況などを説明し、八百部用意したパンフレットがほぼ無くなる盛況でした。



鉄人28号も登場した愛工大ブース



松坂屋南館で開かれた私立中学進学フェア

石垣教授を団長に23人

第11回学生訪中団の日程など決まる

学生を中心に、姉妹提携校の東南大（中国・南京市）などを訪問して交流を深めている学生訪中団は、ことし十一回目となりますが、このほど九月八、十四日の日程とメンバーが決まりました。団長は石垣尚男・経営情報科学部マーケティング情報学科教授で、副団長は津田紀生・工学部電気学科助教授、そして大学教学センター教務課の山田真吾事務職員が同行します。学生は電気工学、電子工学、応用化学、機械工

学、土木工学、建築学、建築工学、情報通信工学、経営情報科学、マーケティング情報科学の十学科各二人の計二十人（うち女性六人）となっています。

東南大では、日本語科学の授業見学、後藤体育館での体育授業参加などのほか、学生交流会にも出席して交流を深めることにしています。また、南京博物院、拙政園、上海・浦東新区など、史跡をはじめ発展著しい中国の現状も見学する予定です。

成分含め189人が献血に協力

第44回大学祭実行委員会 イベントで呼びかける

を呼びかけました。写真。特設のテント脇には愛知県赤十字センターの採血車

十月十六日と十七日の土、日曜日をメインに第四十四回愛工大祭の多彩なイベントが繰り広げられます。これに先だって大学祭実行委員会では、六月十日と十一日の二日間、12号館前で「梅雨献血」

が待機。二日間で、成分献血十人を含む百八十九人の協力がありました。



スポーツ情報コーナー

硬式テニス部が5年ぶりに東海リーグ優勝

平成16年度東海大学対抗テニスリーグ戦（6月26日～7月3日・岐阜メモリアルセンターテニスコート）で、愛工大・硬式テニス部は5年ぶりに1部リーグ優勝を飾りました。ダブルス・シングルス両部門トータルで、四日市大、南山大、愛知学院大をいずれも8-1で破り、平成11年以来の優勝です。

顧問の藤井勝紀・基礎教育センター助教授とチームの代表は7月14日昼前、本部棟で後藤泰之学長に優勝報告をしました。「よく頑張りましたね」と後藤学長からお祝いの言葉を受けた後（写真）、正面玄関前で記念撮影し、今後の健闘へ誓いを新たにしていました。



メディアライブラリー開放



ウィンドウズ講座



オープンスクール(名電高) 地域との交流を深めています パソコンスクール(専門学校)

家電修理やPC講座

隔週土曜の休校日を活用し、パソコン教室や名曲鑑賞会などを通じて地域の人

達との交流を深めるとともに、名電高校の持つ技術力や蔵書・レコードなどの財産を広く公開して地域に還元していくこうと、ことしも六月五日に三回目の「オープンスクール」がスタートしました。主なコースを、会場の写真とともにご紹介しましょう。

【パソコン講座】年配の人たちからも人気が集まっているのが、ウィンドウズ、マッキントッシュのパソコン講座。キーボード操作の基本や文書ソフト・ワードなどの使い方、それに図形

ソフトを利用して絵を描くなど、色々なテクニックを学んでいます。

【メディアライブラリーの開放】子供たちに人気です。読書のほか、パソコンを自由に使って世界中のホームページにアクセスしたり、DVDやビデオのコーナーでは映画・音楽鑑賞が楽しめます。メディアライブラリーは毎週、開放

名刺作りに18人挑戦

地域の子供や保護者たちにパソコンの楽しさと操作方法を指導し、ACEファウンを育てていこうと、今年も専門学校でパソコンスクールが開かれました。シリーズ「パソコンを使って名刺を作ろう」一回目は、七月二十六日～二十八日の三日間行われ、小学五、六年生十四人と保護者四人の計十八人が参加しました。三日間の講習で、デザインや紙質、風合いなど自分好みの名刺を完成させようというもので、3階実習室を会場に山内康義助教授と中山貴子講師が指導を担当しました。写真。

文書・図形ソフトの使い方、プリンターの設定、用

されています。

【家電修理】電気資料室には、持ち込まれた故障電化製品が山のように積まれています。パソコンやラジオ、オーディオ、ビデオデッキなどなど。最近の電化製品は、IC基盤などが多くて素人の手に負えないようです。修理には結構手間がかかり、故障品の山はなかなか低くなりません。

紙の決定など、中山講師がスクリーン上の画面に沿って説明すると、参加者たちは真剣な表情でマウスを操作し、キーボードをたいていました。なお、二回目は八月二十三日から三日間開催の予定です。



家電修理



スポーツ情報コーナー

名電、高校野球夏の県大会はベスト4

第86回全国高校野球選手権愛知大会は7月29日、名古屋・熱田球場で準決勝が行われ、愛工大名電は中京大中京に1-2で敗れました。優勝候補の筆頭に挙げられ、2回戦10-0安城東、3回戦7-0豊田大谷、4回戦9-8大府(延長10回)、5回戦10-2佐織工と、大半をコールド勝ちで準々決勝に。享栄も11-0で退け、準決勝進出を決めました。中京大中京のエースを打ち崩せず1点差に泣きました。

愛知大学野球1部リーグの残留決まる

平成16年の愛知大学野球1部春季リーグ戦(4月3日～5月24日)で愛工大は、2勝9敗(勝ち点1)で勝率1割8分2厘と最下位でした。1・2部入れ替え戦は6月5～8日に行われ、愛工大は2部1位の東海学園大と対戦。結局、9-2、2-7、4-2で競り勝ち、1部残留を決めました。今季不調の原因は投打がうまくかみ合わなかったため、奥田好弘硬式野球部監督は「基本に立ちかえり、雪辱を期したい」。



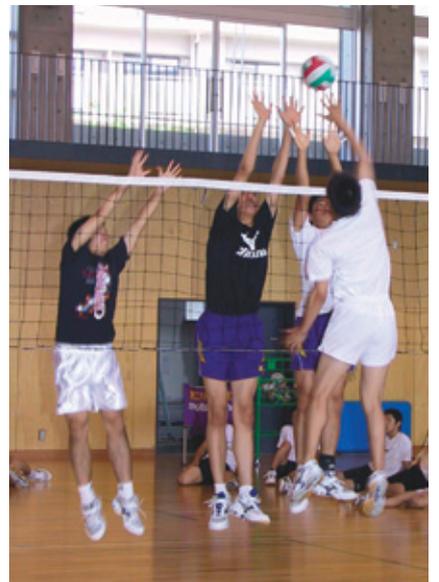
名電高吹奏楽部員87人と顧問の桐田正章教諭らが7月22日から30日まで、音楽の都・ウィーンへの演奏旅行を楽しんで来ました。連続金賞獲得で全日本吹奏楽コンクールに今年は出場出来ないことから、ウィーンでの世界吹奏楽コンクールに参加したものです。U18(7チーム)、TOP(4チーム)両部門で金賞とW杯を獲得、シェーンブルン宮殿では得意の演奏も披露しました=写真。

ウィーンで金、W杯に輝く 名電高吹奏楽部

二〇二〇の長身を誇る名電高バレー部・相山卓哉君(17) 電子科2年、写真が、平成16年度全国高校選抜チームのメンバーに選ばれ八月中旬から一週間、中国遠征に参加しました。日本バレーボール協会によると、チームは相山君ら十五人で、北京で中国選抜チームと四試合を戦うこと

になつていきます。相山君は全日本ユースの遠征メンバーにも選ばれており、いったん帰国した後、八月二十三日から一週間、再び中国・長春市への遠征に参加する予定です。バレーのネットは高さ二四三センチ、写真で分かる通り相山君(向う側中央)のブロックは威力がありそうです。

高校選抜で中国遠征に参加
名電高バレー部の
相山卓哉君 (17)
=電子科2年



名電高生が入試・授業内容や施設など「進学先」をしっかりとチェック!



**名電高校で
愛工大の学科説明会**

学科・専攻、入試方法などについて愛工大の説明を受け、名電高生が進学する際の参考にしようと、進路指導部主催による愛工大説明会が7月6日に開かれました。午前11時から2~3年生約280人を対象に喬徳館で全体説明が行われ、愛工大の石垣尚男入試部長が学生サポート体制、就職状況、学科再編の意義と狙いなどについて詳しく説明しました。この後、専攻別に12の教室に分かれ、専攻担当者から直接、現状説明を受けたり、質問に答えてもらっていました=写真。



**専門学校で
名電高生が体験入学**

授業体験や施設見学を通して、進学先の選択肢の一つとして検討します。名電高生による情報電子専門学校(ACE)見学会が7月12日に行われ、これから進学か就職を選択する2~3年生16人が参加しました。午後1時から、プログラミング、3次元CG、ホームページ制作の3コースで授業を体験(写真)。ディスプレイを見つめながら、デジタル時計やキャラクターアニメの制作に挑戦したり、“自分流”のホームページ制作に真剣な表情でした。

編集後記

先日、宝くじで三千元当たりました。七等二本を含め、「賞金総額」は三千六百円で二千四百円のマイナスです▼それでも何となく豊かな気分になるのはどうしてでしょうか。ついついパソコンショップで、高い買い物をしてしまいました▼当たりっこないと家族からも馬鹿にされながら、夢を見るぐらいいいだろうと買いつけている宝くじです▼でも、本心は「買わなきゃ当たらない」。そのうちに三億円当てるぞ」の意気込みで、耐えています▼最近、仕事も宝くじを買うのと共通点があるなと思うようになりました。買わなければ当たらない、やらなければ前へ進まない▼「人がいないから出ません」「うまくいきっこありません」。やる前にこんな感想を述べる人が多すぎると思いませんか▼人がいないのであればいいなりに、達成が難しそうなこれまでに、努力をしてみるのが大切だとつくづく思います▼何もせずには、成功の甘き香りがかぐことは出来ません(柳)